

阪急阪神ホテルズのインバウンド戦略

京都を訪れる外国人観光客にさらなるおもてなしを



国際観光都市・京都では、近年、外国人観光客が急増。京都市が毎年行う「京都観光総合調査」によると、2014年度の京都の外国人宿泊客数は過去最高となる183万人で、前年よりも70万人（約62%）増となりました。その要因として、京都全体で取り組んでいる外国人観光客を呼び込む施策が功を奏したこと、実際に京都を訪れた外国人観光客が投稿したSNSやブログ、口コミサイトを通して、京都の魅力が世界に向けて広く発信されたことなどが考えられます。また、京都への注目度の高まり

は、アメリカを中心に旅行者への影響力が大きい旅行雑誌「Travel+Leisure(トラベル・アンド・レジャー)」の読者アンケートで、京都が2年連続で世界一の人気観光都市に選ばれていることからわかります。今回は、これら京都への追い風を背景に、さらなる躍進を遂げるべく、2015年7月、「和み(なごみ)」をテーマに客室リニューアルを完了した、京都新阪急ホテルの外国人宿泊客の需要に対する施策、さらには、阪急阪神ホテルズの外国人宿泊客拡大への取り組みをご紹介します。

Profile

株式会社 阪急阪神ホテルズ
近畿圏事業本部
京都新阪急ホテル 総支配人

浅田 誠

1981年の京都新阪急ホテルの開業を夏に控えた、同年春に入社。同ホテルで20年余りのキャリアを積んだ後、新阪急ホテル営業企画室へ出向。千里阪急ホテル(宿泊・レストラン部長)、大阪新阪急ホテル(宿泊部長)、ホテル阪急インターナショナル(宿泊部長)等を経て、2015年4月、京都新阪急ホテル総支配人に就任。



Profile

株式会社 阪急阪神ホテルズ
広域事業本部 開発事業部
ホテル開発部 専任マネージャー

丸山 貴生

1995年、六甲山ホテル入社。2002年合併により第一阪急ホテルとなった後は、現職のホテル開発に10数年携わり、この度の京都新阪急ホテルのリニューアルを担当。過去に担当した案件としては、大阪新阪急ホテルオリンピア、京都新阪急ホテル(2009年)がある。

